



## 先週の記録 ● 出席報告

会員数 38 名 免除者 3 名 出席義務者 35 名

出席者	欠席者	出席率
31 名	5 名	86.11%

### ● スマイル報告 投函者 26 名 金額 28,000 円

11 月 30 日、12 月 1 日に R I ジョンジャーム会長が名古屋に来て「ロータリー研究会」がありロータリーは・時代についていくこと・時代に適応していくこと・将来に備えること 以上 3 点がこれからの課題であることを説かれていました。 石垣智康

クラブで最重要行事の臨時総会、年次総会の出席が非常に悪かった。来年は両総会とも 100%出席を目指そうではありませんか！ 佐藤八郎

## 先週の卓話

### 各務成喜君「戦争の話」



昔は軍艦マーチが日本の国歌であるかのように頻繁に聞こえてきていました。太平洋戦争という言葉がたくさん聞いてみえると思いますが私の中の

戦争は大東亜戦争です。戦争も年月がたてば日本の力のなさが露呈してきます。タイからビルマに行くビルマ街道では兵隊が「進め進め」と進んで行きます。しかし東京では地下の冷暖房の効く場所にいる軍の司令部はいい加減なものでした。

日本は戦争に負けました。ただ日本人は駄目になった時に諦めずどうしたらよいのかを考えることが出来ました。何とかしたら前よりもよくなった！

そんなことの連続であったと思います。

### 加藤三紀君「留学体験について」



私はオーストラリアのメルボルンの郊外のウィリアムズタウンという海辺の街に留学していました。ロータリークラブにお世話になり 4 件の家庭で

ホームステイをしました。ホームステイ先の家庭は民族もさまざまでした。アイルランド系の厳しい家族、イギリス系の優雅な家族、スコットランド系のクリスチアンの家族ありとホームステイ先でも各国の文化に触れることができました。色々な国からの交換留学生との交流があり、さまざまな意見を聞き、考えの違いがあることを学びました。高校でのあらゆることが選択制であったため、たとえ子供であっても何でも自分で決めることが当たり前でした。留学経験は語学の向上だけでなくさまざまな体験をし、成長する素晴らしい機会でした。

## I. G. M. (Dグループ) 報告

### 執行部 加藤健治

12 月 8 日午後 6 時松正にて

厳しい航海の中にあると例えられた RC の現状を分析し、あるべき姿を探るようにとのリーダーから問題提起に対し、以下の意見が出された。

1. 今までの I. G. M. は、意見が出されるだけで、理事会や例会に反映されていないので、反映させ実行に移すべきである。

2. 例会に活力を取り戻すべきである。私語を慎む。返事は大きな声で、手を挙げて「ハイ！」とする。拍手は元気よく。眠らない。マナーを守る。

3. 現在の西クラブでは、若い人たちに「いっしょにやろうよ」と勧められない。例会に体験参加してもらっても、その気にさせられない。

4. クラブへの参加姿勢が、「ちょっと他人事」のような感があり、自分たちで盛り上げていこうとの気概が感じられない。他のクラブの例会にも参加して、学んで来るべきだ。

5. 合併の議論が出るということは、西クラブが弱くなってきている証拠である。合併については賛否両論が出たが、多治見 RC やリバーサイド RC にその気がなければ、現実問題として進めることはできない。

6. 様々な職種の集まりだから、その力を統合して奉仕活動をもっとやるべきである。

懇親会の時間も含め、極めて活発に本音の意見が出て有意義な会議となりました。

### 三島西ロータリークラブとの交流会

12 月 9 日 (金) オースタット国際ホテル



三島西 RC の皆さんとは、苗栗 RC の台湾での記念式典にて毎年顔を合わせるも親しくお話する機会がありません。今回三島西 RC からの誘いで懇親会を開催することになりました。各務和宏君の司会進行、中島会長挨拶、山口寛君の乾杯と続き、参加者 26 人全員自己紹介をして和やかで楽しい時間を過ごしました。「縁」を大切にすると自分の人生が豊かになると感じる事ができる交流会でした。